**産科医等確保支援事業(分娩手当)調書**

|  |  |
| --- | --- |
| 医療機関名称 |  |
| 開設主体 |  |
| 記入者職・氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| ファックス番号 |  |
| メールアドレス |  |

別添の注意事項、記載例を確認の上、ご記入ください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 一般的な分娩費用 | 令和　　年度分娩取扱(**見込**)件数 | 支給対象者：１分娩あたり単価 | 分娩手当支給(見込)額 | 支給対象者:実人数 | 申請の有無 |
| 注１) | 注２） | 注３） | 注４） | 注５） |  | 注６） |
|  | 円 | 件　（　　　　　　　件） |  | 計　　　　千円（内訳） | 産科医・産婦人科医:　 名助産師:　　　名 |  |

【注意事項】※今年度、補助申請を行わない場合は、記入が可能な箇所のみ記入してください。

注１）「区分」欄について

・「病院」又は「診療所」の区分を記入してください。

注２）一般的な分娩費用欄について

・正常分娩1分娩あたりの入院から退院までに一般的に分娩費用として徴収する額を記載してください。

　　※妊産婦が任意に選択できる記念品、特別料理等については、これに含めない。

注３）分娩取扱（見込）件数欄について

・申請年度の 4月1日～ 3月31日までの間の分娩件数の見込みを記載してください。

・括弧書きで分娩手当の支給対象となる分娩件数の見込みを記載してください。

　　　※例えば、異常分娩しか手当の支給対象としていない場合などは、正常分娩の件数は含めないこと。

・双子の場合は２件で計上して差し支えない。

・１回の分娩を複数の医療従事者で取り扱った場合でも１件として計上してください。

注４）支給対象者：1分娩あたり単価欄について

・分娩手当を支給対象とする者と、その支給単価について記載すること。

・正常分娩と異常分娩で単価が変わる場合などは全て記載すること。枠内に入らない場合は給与規程等の添付でも可｡

注５）分娩手当支給予定額欄について

・実際に産科医等に支給される年間の手当の支給実績（見込）の総額を記載してください。

・(内訳)欄に、総額の積算根拠を記載してください。職種・分娩の種類等により単価が異なる場合は、それぞれ分けて記載してください。

　　**※産科医・産婦人科医及び助産師以外に支給される手当は含めない。**

注６）申請の有無欄について

・申請の”有”又は”無”を記載願います。

【記載例】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 一般的な分娩費用 | 令和元年度分娩取扱(見込)件数 | 支給対象者：１分娩あたり単価 | 支給対象者実人数 | 分娩手当支給 (見込)額 | 申請の有無 |
| 診療所 | 470,000円 | 500件　（250件） | 産科医：正常分娩10,000円、帝王切開15,000円助産師：5,000円 | 産科医：1名助産師：２名 | 計　　　5,750千円（内訳）産科医・正常分娩＠10,000円×400件＝4,000,000産科医・帝王切開＠15,000円×50件＝750,000助産師＠5,000×200件＝1,000,000 | 有 |
| 病院 | 770,000円 | 900件　（900件） | 産科医：10,000円 | 産科医：１名 | 計　　　9,000千円（内訳）産科医＠10,000円×900件＝9,000,000 | 無 |
| 病院 | 300,000円 | 100件 （ 0件） | 手当支給なし |  | 計　　　0千円 | 無 |
| 助産所 | 370,000円 | 91件 （　91件） | 助産師9,000円 | 助産師：1名 | 計　　　819千円（内訳）助産師＠9,000円×91件＝819,000 | 有 |